

研究課題名	眼球構造物が緑内障視神経障害の進行に及ぼす影響についての研究
研究期間	実施許可日 ～ 2027年3月31日
研究の対象	2003年4月1日から2026年3月31日の間に、広島大学病院眼科を緑内障疾患で受診し、一般的眼科検査を受けた20歳以上の患者さん
研究の目的・方法	研究目的：成長期に眼底がどのように変化するかを調べることで、近視および病気の発症予防に役立てようと考えています。 研究の方法：本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記し解析します。
研究に用いる試料・情報の種類	ルテから転記する内容は眼疾患名、年齢、性別、眼所見、視神経乳頭形状、網膜・脈絡膜の厚み、眼軸長、前房深度、角膜曲率半径、視力、屈折、眼圧、視力です。個人が特定できる情報は転記しません。
外部への試料・情報の提供	本学単独研究のため外部への提供はありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2013年10月15日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院眼科 准教授 廣岡 一行
その他	※利益相反が有る場合（資金源および開示すべき利益相反）、知的財産権等が生じる場合など、必要に応じて記載してください
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	の研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 広島大学病院 眼科 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 TEL：082-257-5247 広島大学病院 眼科 職名 准教授 廣岡 一行